

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

科目名 教科教育法（図画工作） （英文名）Teaching Methods of Drawing, Painting and Handicrafts	2単位 （春 期）	（ふりがな）まつだ としや 担当者 松田 俊哉 e-mail tmatuda@kokushikan.ac.jp
授業のねらいと概要： 図画工作の意義と目的に基づき、どのように展開されるべきかを理論と実践的事例を経験しながら考察していく。創造性の素地と情操を育てるという教科の特性をふまえ、基本的な理念や指導方法、を身につける。		
教科書：プリント資料配布		
参考図書：「小学校指導書・図画工作」（文部科学省編）		
評価法：春期試験（無し）、指導案低・中・高学年計3点：60%（20%×3）、ノート提出（有り）：40%		
具体的評価方法等：上記指導案3点とノートは全て提出義務とする。配点は上記の通り。		

【授業計画】

回 数	講 義 テ ー マ と 概 要
第1回	教科教育法(図画工作)について 1. 予備的考察
第2回	2. 基本的考察
第3回	3. 子供の発達段階における絵画表現の推移 ①なぐりがき～かたちの出現 ②図式期(前半)
第4回	4. " ②図式期(後半)③視覚的写実表現期
第5回	5. 美術を通じた教育 6. 指導の観点
第6回	7. 各学年各単元毎の目標と方向性 8. 評価方法 9. 教材研究について
第7回	教材研究①低学年の実践：自然物を使った造形遊び(色彩、かたち)
第8回	①の模擬授業(導入の指導方法) 指導案提出
第9回	教材研究②中学年の実践：釘と木の造形表現(過程の表現、ものの転換)
第10回	②の模擬授業(導入の指導方法) 指導案提出
第11回	教材研究③高学年の実践：フロッタージュによる描画(ものの表情を捉える)
第12回	教材研究④高学年の実践：コラージュによる表現(濃淡、色彩)
第13回	③④模擬授業(導入及びまとめの指導方法) 指導案とノート提出
第14回	小学校図工科の授業参観